



イヌコリヤナギ [犬行李柳] ／白露錦

落葉／低木／木本植物／園芸品種



科名 ヤナギ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い、雌雄異株

白銀色の柔らかな毛に包まれた花芽が膨らむと、春の訪れを感じさせてくれる小低木。早春の花材としても人気がある。5月には実がはじけ'柳絮 (りゅうじょ)' となって舞い始める。'白露錦' はカラーリーフが美しい園芸品種。白い斑入りの新梢が淡いピンク色を帯びる。



全景 (開花期)



新葉



雄花



白露錦 葉

Memo

'柳絮 (りゅうじょ)' は、白い綿毛に包まれた柳の種子。春風に乗って漂う様子が風物詩になる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期				■									
果 実						■							
紅葉・黄葉												■	■
施 肥			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
剪 定		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	○
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

白い絹毛に包まれた花が咲く時期が一番魅力ある景になる。乾燥を嫌うので、高低差があれば低い場所や水辺の近くに配植するとよい。枝が混み合い風通しが悪くなると虫害を受けるので注意する。

剪 定

ヤナギ類は一般に短命で、幹が腐りやすい。幹に穴をあける昆虫が多いのも幹が柔らかいことが原因。幹が古くなると花付も悪くなるので、古い枝を切除し、新しく伸びる枝と新旧更新すとよい。

病虫害

枝や幹が柔らかいことから、昆虫の食害を受ける。アブラムシ、カイガラムシをはじめ、テッポウムシ (カミキリムシの幼虫) やコウモリガが幹に穴をあける被害を受けやすい。